

科目名	日本語・日本文化論		英文表記	Japanese and Cultural Theory		2014年3月4日		
科目コード	6003					作成		
教員名: 澤井 万七美								
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	
全学科			専1	選択	学修	2単位	講義	
授業期間			前期					
科目目標	世界から注目される日本の文化の現状と課題を考察する。 ①文化と社会の関係をより深く知る。 ②文化をベースにした多様な情報発信の可能性を考える。							
総合評価	後半部分に行く【口頭発表】(40%)および【期末に提出するレポート】(60%)によって評価する。							
達成度目標と評価方法	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法				
	①	文化と社会との関係をより深く知る。(機械システム工学C-1,C-4 情報通信システム工学(A-1,C-3 メディア情報工学C-1,C-4 生物資源工学B-1,C-2)			⇒ 口頭発表とレポートによる評価			
	③	文化をベースにした多様な情報発信の可能性を考える。(機械システム工学C-1,C-4 情報通信システム工学(A-1,C-3 メディア情報工学C-1,C-4 生物資源工学B-1,C-2)			⇒ 口頭発表とレポートによる評価			
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	
				◎	JABEEプログラム教育目標	C-1,C-4	A-1,C-3	
						メディア情報工学	生物資源工学	
要・方針・履修上の注意	前半期間(科目目標①②に相当)は、主に講義形式をとる。 後半期間(科目目標③に相当)は、前半部分で得られた情報に加え、各自リサーチを行った上で、各自で新たな【文化プロジェクト】の提案を行う。PPTを用いた口頭発表・学生間相互評価を受けてのレポート提出を課す。							
教科書・教材	教員作成資料							
授 業 計 画								
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容				自学自習(予習・復習)内容	
1	ガイダンス	2	授業の進め方/「文化」とは何か					
2	文化と経済(1)	2	経済活動における「文化」				①教員指定が指定する資料(サイト)を通読しておくこと ②オリジナル文化プロジェクト立案・資料準備を進めること 発表資料準備	
3	文化と経済(2)	2	文化産業をめぐる世界の現状					
4	文化と経済(3)	2	メセナ・アートマネジメント					
5	文化政策(1)	2	文化政策概論					
6	文化政策(2)	2	世界各国の文化政策					
7	文化政策(3)	2	日本の文化政策の展望					
8	事例研究(1)	2	文化と産業・コミュニティとの関係					
9	事例研究(2)	2						
10	事例研究(3)	2						
11	発表準備	2	各自オリジナルの文化プロジェクト立案					
12	口頭発表(1)	2	文化プロジェクト発表/質疑応答/相互評価					
13	口頭発表(2)	2						
14	口頭発表(3)	2						
15	総括	2	総括					発表資料のレポート化
期末								
学習時間合計		30	実時間			22.5		
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)						標準的所用時間(試行)		
①	事前に指定する資料通読					5		
②	口頭発表資料作成のためのリサーチ・資料作成					10		
備 考 欄								

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)

|

|

|